

中高一貫教育だより

令和2年11月6日（金） 第2号発行

平成13年に軽米高校と地域の中学校4校（軽米中・ 笹渡中・ 小軽米中・ 晴山中）との間で始まった「連携型中高一貫教育」は、今年で20年目の節目の年となりました。

今年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、様々な制約がある中での活動でしたが、「中高一貫クリーン作戦」「軽米高校文化祭への軽米中壁新聞の出品」「中高一貫 英語の授業（軽米高校英語科の先生が軽米中に来校して授業）」「中高一貫 数学 集中講義（軽米高校の数学科の先生が来校して1週間授業）」など、さまざまな取組を行っています。今号では、7月に行われた「軽米高校一日体験入学」と10月に行われた「中高一貫 数学 集中講義」を中心に紹介します。

「軽米高校一日体験入学」～7/1(水) 軽米高にて～

高校の一日体験入学は、毎年どの高校でも行われており、進学を考えているそれぞれの高校の特色を理解したり、学校の雰囲気や活動の様子を知る上で有効な手立てとなっています。一般的には、希望者がそれぞれの高校へ参加することになっていますが、軽米高校へは、地元の中高一貫校ということで、3年生全員が参加しています。軽米高校へは多くの先輩が進学しているので、軽米高校の情報は他の高校よりも多く知っているはずですが、実際に行き体験してみて、実感できることもあるようです。



中学生の感想

・授業は、とても楽しかったし、部活も高校生が優しくて、活動しやすかったです。最初の音楽部の発表も見ていてすごいと思いました。校長先生の学校紹介は、軽米高校がとてもすばらしいことをしているんだなとか、高校生みんなが頑張っているというのが伝わってきました。

・生徒と向き合って、ていねいに学習を進めているということを聞いて、学習に力を入れていることがよく分かった。部活動や全体の雰囲気が良く、体験したことにより、学校の良さを再度確認できて、とても良い体験になった。

・先輩たちが自分たちの案内をしてくれて、とても心強いなと思いました。先生方も楽しく授業が受けれるようにプリントなどを作ってくれていて、生徒のことを考えてくれているんだなと思いました。部活動も楽しそうに説明してくれて、こっちまで楽しくなることができました。

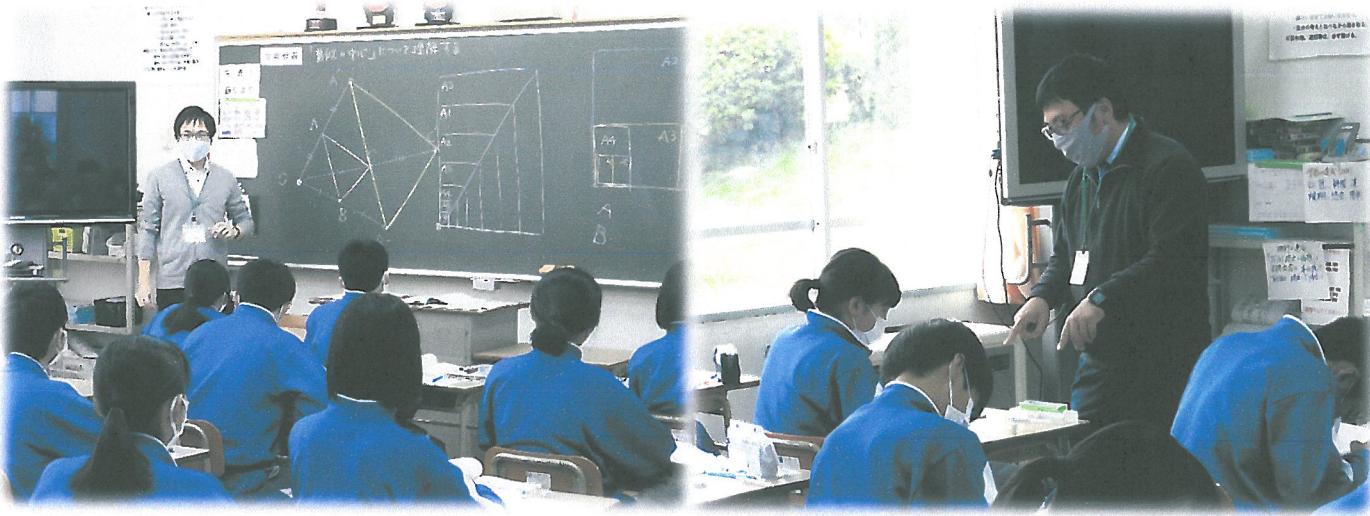
・少人数だからできることに目を向けて、先生や地元の人々との交流に力を入れていたり、校是や校章から一人の人間として生きるために必要なことが示されていて、充実した高校生活を送ることができそうだなと感じた。学校行事も盛んに行われていて、楽しそうだし、まわりの人との交流ができていいなと思った。

・今回、授業、部活を体験し、学校の行事も教えてもらった。授業では、具体的な例を出してくれて、分かりやすく、今後役立つことも練習させてもらった。部活では、先輩たちが楽しそうで、僕達にも分かりやすく、こつも教えてもらいながら取り組めた。

「中高一貫 数学 集中講義」～10/6(月)～10/9(金) 3年生数学～

中高一貫の連携授業（高校の先生が中学校で授業を行う）は、岩手県では、軽米町以外では、一関市の一関一高～一関一高付属中（平成21年新設の併設型中高一貫教育校）などで行われています。

中高一貫の連携授業には、「中学生の高校の先生方への信頼感・安心感が増す」「高校の先生方の中学生への理解が増す」「高校のレベルの高い学習内容にふれ、高校の学習への興味・関心と期待感が増す」などの効果があり、その結果、「中学校と高校の接続がよりスムーズにできる」「高校に進学した中学生への学習指導や進路指導がよりきめ細かにできる」ようになり、メリットが非常に多いです。



【集中講義を受けた中学生の事後アンケートの集計結果より】

質問1：数学の授業に関心を持って参加することができた。



質問2：中学校で学んだ数学が、高校でどのように活用していくかについて
考えたり気付いたりできた。



- あてはまる
- ややあてはまる
- どちらともいえない
- あまりあてはまらない
- あてはまらない

質問3：集中授業を受けて良かった。



「中高一貫 クリーン作戦」～9/16(水) 軽米町内にて～



軽米高・軽米中が協力して町内のごみ拾い

【あとがき】

全国で「中高一貫教育」を行っている高校は約600校。この「中高一貫だより」は、軽米町が進める「中高一貫教育」を、広く軽米町民のみなさんにご理解していただくために発行しています。今年度は新型コロナの関係で軽米高校、軽米中学校に来校いただくことがほとんどできませんでしたが、機会ができましたら、お気軽に越しいただき、生徒の活動の様子等をご覧ください。

中高一貫教育だより

令和2年11月6日(金) 第2号発行

平成13年に軽米高校と地域の中学校4校（軽米中・ 笹渡中・ 小軽米中・ 晴山中）との間で始まった「連携型中高一貫教育」は、今年で20年目の節目の年となりました。

今年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、様々な制約がある中での活動でしたが、「中高一貫クリーン作戦」「軽米高校文化祭への軽米中壁新聞の出品」「中高一貫 英語の授業（軽米高校英語科の先生が軽米中に来校して授業）」「中高一貫 数学 集中講義（軽米高校の数学科の先生が来校して1週間授業）」など、さまざまな取組を行っています。今号では、7月に行われた「軽米高校一日体験入学」と10月に行われた「中高一貫 数学 集中講義」を中心に紹介します。

「軽米高校一日体験入学」～7/1(水) 軽米高にて～

高校の一日体験入学は、毎年どの高校でも行われており、進学を考えているそれぞれの高校の特色を理解したり、学校の雰囲気や活動の様子を知る上で有効な手立てとなっています。一般的には、希望者がそれぞれの高校へ参加することになっていますが、軽米高校へは、地元の中高一貫校ということで、3年生全員が参加しています。軽米高校へは多くの先輩が進学しているので、軽米高校の情報は他の高校よりも多く知っているはずですが、実際に行き体験してみて、実感できることもあるようです。



中学生の感想

・授業は、とても楽しかったし、部活も高校生が優しくて、活動しやすかったです。最初の音楽部の発表も見ていてすごいと思いました。校長先生の学校紹介は、軽米高校がとてもすばらしいことをしているんだなとか、高校生みんなが頑張っているというのが伝わってきました。

・生徒と向き合って、ていねいに学習を進めているということを聞いて、学習に力を入れていることがよく分かった。部活動や全体の雰囲気が良く、体験したことにより、学校の良さを再度確認できて、とても良い体験になった。

・先輩たちが自分たちの案内をしてくれて、とても心強いなと思いました。先生方も楽しく授業が受けれるようにプリントなどを作ってくれていて、生徒のことを考えてくれているんだなと思いました。部活動も楽しそうに説明してくれて、こっちまで楽しくなることができました。

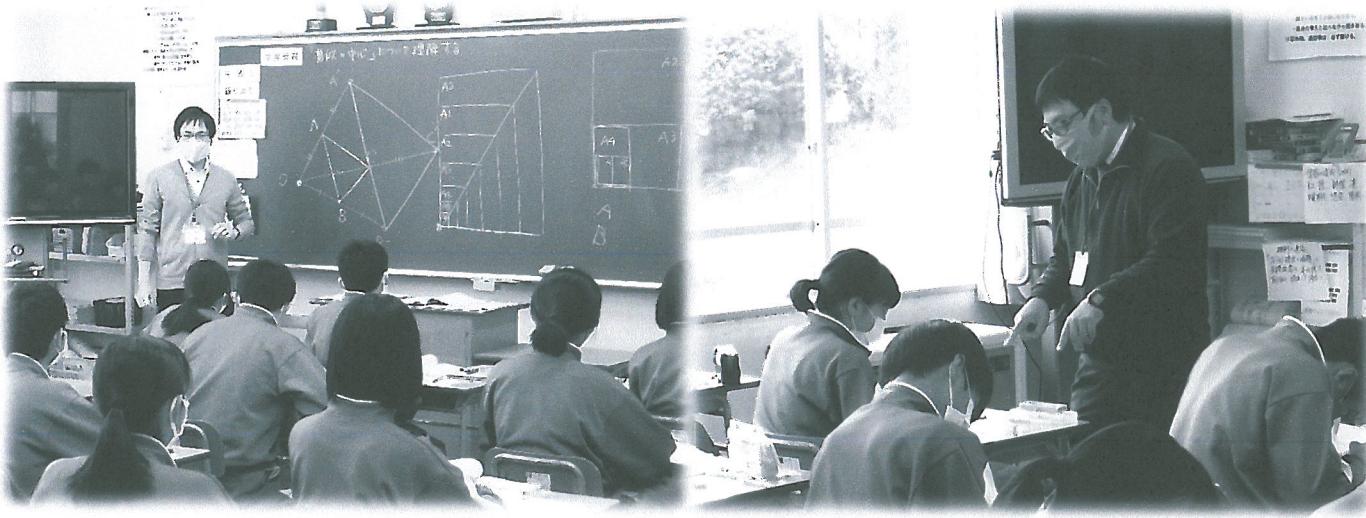
・少人数だからできることに目を向けて、先生や地元の人々との交流に力を入れていたり、校是や校章から一人の人間として生きるために必要なことが示されていて、充実した高校生活を送ることができそうだなと感じた。学校行事も盛んに行われていて、楽しそうだし、まわりの人との交流ができていいなと思った。

・今回、授業、部活を体験し、学校の行事も教えてもらった。授業では、具体的な例を出してくれて、分かりやすく、今後役立つことも練習させてもらった。部活では、先輩たちが楽しそうで、僕達にも分かりやすく、こつも教えてもらいながら取り組めた。

「中高一貫 数学 集中講義」~10/6(月)~10/9(金) 3年生数学~

中高一貫の連携授業（高校の先生が中学校で授業を行う）は、岩手県では、軽米町以外では、一関市の一関一高～一関一高付属中（平成21年新設の併設型中高一貫教育校）などで行われています。

中高一貫の連携授業には、「中学生の高校の先生方への信頼感・安心感が増す」「高校の先生方の中学生への理解が増す」「高校のレベルの高い学習内容にふれ、高校の学習への興味・関心と期待感が増す」などの効果があり、その結果、「中学校と高校の接続がよりスムーズにできる」「高校に進学した中学生への学習指導や進路指導がよりきめ細かにできる」ようになり、メリットが非常に多いです。



【集中講義を受けた中学生の事後アンケートの集計結果より】

質問1：数学の授業に関心を持って参加することができた。



質問2：中学校で学んだ数学が、高校でどのように活用していくかについて考えたり気付いたりできた。



質問3：集中授業を受けて良かった。



- ・あてはまる
- ＝ややあてはまる
- ・どちらともいえない
- IIIあまりあてはまらない
- あてはまらない

「中高一貫 クリーン作戦」~9/16(水) 軽米町内にて~



【あとがき】

全国で「中高一貫教育」を行っている高校は約600校。この「中高一貫だより」は、軽米町が進める「中高一貫教育」を、広く軽米町民のみなさんにご理解していただくために発行しています。今年度は新型コロナの関係で軽米高校、軽米中学校に来校いただくことがほとんどできませんが、機会がありましたら、お気軽に越しいただき、生徒の活動の様子等をご覧ください。

<発行：軽米中学校事務局（第2号発行担当）>